

黒門前でティーチ工学長(右から4人目)を囲んで  
佐々木学長(右端)、日高理事長(左端)ら



**独ハレ大学学長らが来校**

専修大学の国際交流協  
定校マルティン・ルター  
大学ハレ・ウィッテンベ  
ルク(ハレ大学、ドイ  
ツ)のクリスティアン・  
ティーチ工学長らが5月  
13日、神田キャンパスを  
訪問し、日高義博理事  
長、佐々木重人学長らと  
懇談、さまざまな交流を  
活性化させることを確認  
し合った。

両校は1995年に協  
定を結び、学生の交換留  
学、短期留学や、交換職  
員の実施、教員による研  
究交流などを展開。派遣  
数は、専大が183人、  
ハレ大学が261人に上  
る。

日高理事長は、これま  
での歴史を振り返り「私  
たちは交流第1世代。今  
後は第2世代の学生や教  
員の活躍を期待したい」と  
語った。佐々木学長は  
「専修大学は来年度、新  
学部国際コミュニケーション

### 法学部学術講演会「身体活動を伴ったコミュニケーション」

# フロアバレーを紹介 プレーを通して互いを理解



障がい者スポーツについて語る大浜さん



体験授業で力強くプレーする永盛さん(左)

「身体活動を伴ったコミュニケーション」をテーマに、5月27日、法学部学術講演会が神田キャンパスで開催された。千葉県でスポーツや健康づくり活動を行うNPO法人スマイルクラブ理事長の大浜あつ子さんが講演。障がい者スポーツ全般について報告し、視障がい者も目が見える人も楽しめる「フロアバレー」を紹介した。



全盲の永盛楓人さん(法1)

フロアバレーの体験授業で、ひととき機敏な動きをする学生がいた。永盛楓人さん(法1)だ。わずかな光も識別できない全盲だが、転がるボールに俊敏に反応し、打ち出すボールの威力と速度は相当なもの。「ナイース! 永盛くん!」プロックが決まるたびに周囲の学生から声が上がった。永盛さんは病気のため2歳で両目の視力を失った。茨城県ひたちなか市から筑波大学附属視覚特別

## 勉学もスポーツも楽しむ

支援学校(東京都)で学んだ。高校の授業で地元市について1年かけて調べる中で「市の魅力を伸ばし、課題を改善していきたい」と思い、市議会議員を志すように。政治や行政を深く学ぼうと、今年4月、本学法学部政治学科に入学した。事前に教科書やテキストデータを交換ソフトで点字にして授業に臨む。「先生方が配慮してくれているので、授業で困ることは今のところ少ない。サポートをきっかけ

に友人もできた」と語る。ただ、自分からは話しかけることが難しいこともあり、「どんだん声をかけてほしい」と同じ学部の学生に呼びかける。放課後や週末はフラインドサッカーの練習に励む。ユース代表に選ばれ、2024年のパリ・パラリンピックを目指している。守備が得意で、「ボールへの反応速度は負けない」と胸を張る。フロアバレーでもわず

かな音を捉え、全身を使ってボールに飛び込む。現在、フロアバレーチームを作ろうとメンバーを集めているところだ。音楽が好きで軽音楽サークルにも所属。ボールとして6月末には初ライブが控える。都内で人暮らしをしており、自炊が基本。「うどんのつゆとギョーザが難しい。研究中です」

## アイマスクと車いす体験講座



障がいのある人への理解を深めようと、アイマスクと車いすの体験講座が5月18日、神田キャンパスで行われた。学生部の主催で学生や法科大学院生、職員が参加した。アイマスク体験では目

「毎日、楽しんでいます。勉強もスポーツもサークルも、積極的に挑戦していきたい」と笑顔で大学生活を送っている。院生、職員が参加した。アイマスク体験では目

## SKVがAED使用法伝授



SKVの学生の多くは上級救命技能認定(東京消防庁認定)を受けている。プースを訪れた小学1年生の男児は、ドローラを見て救命救急に興味を持ったという。「倒れている人を見たら助けてあげたい」と、心臓マッサージのやり方を練習していた。

SKVの学生の多くは上級救命技能認定(東京消防庁認定)を受けている。プースを訪れた小学1年生の男児は、ドローラを見て救命救急に興味を持ったという。「倒れている人を見たら助けてあげたい」と、心臓マッサージのやり方を練習していた。



— 75 —  
英語

八島 純 法学部准教授

今さら説明不要だろうが、英語で「He can speak English.」は平叙文、「Can he speak English?」は疑問文である。英語の平叙文と疑問文を比較すると、主語と助動詞の順序が入れ替わっていることがわかる。

## 世界の言語・言語の世界

日本語の場合、平叙文と疑問文の区別は語順ではなく助詞の有無によって示される。例えば、「彼は英語を話せます」という平叙文の文末に助詞の「か」を付け加えれば「彼は英語を話せますか」という疑問文になる。英語を学び始めた頃、「英語の疑問文の作り方が変だな」と思った記憶がある。ここでいう「変」というのが「(世界の言語の中では) 一般的でない」という意味ならば、その時の直感



は正しいのかもしれない。  
The World Atlas of Language Structures (WALS=https://wals.info/) というウェブサイトでは、世界諸言語の特徴を比較することができる。例えば、平叙文と(Yes-No型)疑問文を語順によって区別する言語を調べてみると、登録されている955言語の中でたった13言語(わずか1%強)しか該当せず、60%以上の言語が日本語のように助詞的な要素を使って平叙文と疑問文の区別をすることがわかる。  
世界には約7000もの言語が存在すると言われており、今後さらに多くの言語を調べたら、また新たな事実が明らかになるのかもしれない。  
※短縮版。全文はCALL教室ホームページで

**MIZUHO** みずほ信託銀行 One MIZUHO

信託をより身近に、明日をより豊かに。

資産運用・管理、不動産、相続・遺言など、ご資産に関するさまざまな問題に  
みずほ信託銀行は長年にわたり培ったノウハウを活かし、お客さま一人おひとりのニーズに即したソリューションをご提供いたします。

One MIZUHO